

# 汚泥処理費比較表



資料 2

**【検討条件】**

- 各処理方法について、年間に要するランニングコストを算出。
- 汚泥処理施設建設費は、計上していない。

R元.8.5

第4回岐阜市上下水道事業経営審議会

		(a) コスト(年間)				(b) 減量化	(c) 再生利用	(d) 受入先の確保	総合評価	
脱水汚泥	① 埋立処分	濃縮・脱水 286,642千円 委託料 : 159,047千円 材料・修繕費 : 45,888千円 薬品費 : 41,201千円 動力費 : 28,405千円 その他 : 12,101千円	埋立処分 876,789千円 収集運搬・処分 : 837,389千円 し渣処分 : 39,400千円	<b>凡 例</b>  一部委託にて実施  全部委託にて実施	合計 1,163,431千円 水洗化人口一人当たり※1 4,626円/人	濃縮・脱水	取組無し	産業廃棄物の最終処分場容量に限りがある (H28.4時点の残余年数: 16.6年※3)	×	
	② セメント原料		セメント原料 625,572千円 収集運搬 : 141,309千円 セメント化 : 444,863千円 し渣処分 : 39,400千円		合計 912,214千円 水洗化人口一人当たり 3,627円/人	濃縮・脱水	再生利用している	受入先のセメント製造量に左右 りん成分は、セメントの硬化に悪影響を与える ⇒ 受入制限を受ける可能性がある	×	
焼却灰	③ りん回収		焼却 331,022千円 委託料 : 122,410千円 燃料費 : 96,881千円 動力費 : 66,064千円 材料・修繕費 : 43,682千円 その他 : 1,985千円	りん回収 92,152千円 材料・修繕費 : 36,841千円 薬品費 : 23,021千円 燃料費 : 10,201千円 その他 : 22,089千円	販売・セメント原料 3,839千円 りん酸肥料販売 : △4,036千円 処理灰販売 : △4千円 セメント化 : 7,879千円	合計 742,105千円 水洗化人口一人当たり 2,951円/人	濃縮・脱水・焼却	肥料として再生利用(下水道法努力義務に完全適合)	受入先のセメント製造量に左右 りん回収処理灰は、セメント品質に影響を与えない。 ⇒ 持続的な受け入れを期待できる	○
	④ 埋立処分			不溶化 19,419千円 委託料 : 10,512千円 薬品費 : 3,373千円 その他 : 5,534千円	埋立処分 30,353千円 収集運搬・処分 : 30,353千円	合計 695,886千円 水洗化人口一人当たり 2,767円/人	濃縮・脱水・焼却	取組無し	産業廃棄物の最終処分場容量に限りがある (H28.4時点の残余年数: 16.6年)	△
	⑤ セメント原料			不溶化 22,667千円 ※ 不溶化: 焼却灰に含まれる重金属が、水に溶けださないようにする処理。 ※ 不溶化施設建設費は含まず	セメント原料 22,667千円 収集運搬 : 5,147千円 セメント化 : 17,520千円	合計 688,200千円 水洗化人口一人当たり 2,736円/人	濃縮・脱水・焼却	再生利用している	受入先のセメント製造量に左右 りん成分は、セメントの硬化に悪影響を与える ⇒ 受入制限を受ける可能性がある	△
		プラント間運搬 28,450千円 委託料 : 28,450千円	焼却灰	焼却灰	中核市平均 3,646円/人 (25市※2+岐阜市)					

【コスト算出根拠】 ③H29実績 ①④⑤見積等より試算 ②他都市実績等より試算



**【下水道法】**  
第二十一条の二  
2 公共下水道管理者は、発生汚泥等の処理に当たっては、**脱水、焼却等によりその減量に努めるとともに、** . . . (b)  
発生汚泥等が**燃料又は肥料として再生利用されるよう努めなければならない。** . . . (c)

※1 H29末水洗化人口 : 251,510人 (流域関連公共下水道を除く)  
※2 単独処理場を有する中核市39市に 照会し、回答があった25市  
※3 出典 : 「令和元年版 環境・循環型社会生物多様性白書」 (環境省)